



輝く鏡石 進化し続ける鏡石

鏡石町長 遠藤栄作

あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

東日本大震災からまもなく7年を迎えようとしております。原子力災害対策における除染土壌の搬出は、年度内で完了する見込みとなりましたが、残っている第一小学校校庭の保管土壌についても早急に搬出できるよう進めて参ります。年々震災前の生活に戻りつつあると感じています。が、県内の状況をみると、まだまだ復興途上の状況にあると思います。

町の5つの行政分野別目標を掲げた「第5次総合計画」も、昨年後期計画を策定し、残すところ4年となりました。これまで取り組んで参りました「駅東第1土地区画整理事業」第1工区の整備が着々と進み、新たな住宅地域が形成されつつあります。今後第3工区の推進と合わせた健康福祉センターの設置や、水の安定供給体制の強化を図る第5次上水道拡張事業など、重要事業の展開に向けて検討して参りますので、町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

本町は、面積が県内で3番目に小さくコンパクトで、JR東北本線や高速道路、国道4号線が南北に通っているなど交通の利便性が高く、下水道も完備した住みやすい町です。その特性を生かした「通勤に便利に住むにも快適、子育てしやすい環境を備えた定住の町」を目指して、子どもから高齢者までが元気に繋がる取組を推進して参ります。

また、住民や来訪者が気軽に立ち寄れる交流スペースとして改修を進めている、まちの駅「かんかんでらす」については、施設を生かした各種事業に取り組んで参ります。

最後に、2年後の2020年には東京オリンピックが開催され、これを契機に全国の各市町村がそれぞれの取組に力を入れていることと存じます。本町としても、各種事業に年度毎に目標を掲げ、田んぼアート、オランダ秋祭りなど、「さらに輝き、住みやすい鏡石、進化し続ける鏡石」として取り組んで参りますので、格別なるお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



「笑顔あふれるまちづくり」を

鏡石町議会議員 渡辺定己

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのことと心より、お慶び申し上げます。

平素から議会活動には、多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、東日本大震災から7回目のお正月となりますが、いまだ原発事故による風評被害払拭といった課題はあるものの、「第5次総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいたまちづくりを展開しております。特に、震災後のシンボルの事業として始められた「田んぼアート」については昨年、観覧者数が3万人を超え、稲刈り後のLEDイルミネーション「さらにさらアート」で進化発展しており、町外からも多数の方が町を訪れるようになりました。さらに、地域創生事業を活用してのまちの駅「かんかんでらす」が来年度オープン予定となっており、町民や来訪者が気軽に立ち寄れる交流スペースとして、併せて駅前周遊と地域コミュニティの拠点として町の賑わいを創出する施設を活かした各種事業の取組が期待されております。また、駅東第1土地区画整理事業の第1工区の開発が進み、一般住宅やアパートなども次々に建設されてきていることから、第3工区の早期整備にも期待するものであります。

今後は、地理的な優位性を活かした駅を中心としたコンパクトなまちづくりと、さらに、「通勤に便利に住むにも快適、子育てしやすい環境を備えた定住の町」を目指し「笑顔あふれるまちづくり」の推進を願っております。

議会といたしましては、町民にわかりやすい政治、より開かれた議会、信頼される議会を目指し、地方議会として今後の議会のあるべき方向性を探り、議会機能のさらなる充実と強化を図るため、議会基本条例の制定に向けて議会改革特別委員会を設置し議論をしていますが、町民の皆様との連携を一層密にし、町政の発展のため、さらに努力して参る所存であります。

年頭に当たり、町民の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、今年もより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。